

第 4 回 美里町総合計画審議会産業振興部会 議事録

年	月	日	平成 2 7 年 1 0 月 2 0 日 (火)
場		所	美里町庁舎 3 階会議室
審 議 開 始 時 間			午後 1 時 3 0 分
出	席	委 員	渡邊新美部会長、今野良寿委員、日塔明広委員、涌井良宣委員、大友雅志委員
欠	席	委 員	阿部雅良副部会長、西川正純委員、渡部直喜委員、
審 議 終 了 時 間			午後 4 時 0 4 分

審議開始

- 午後 1 時 3 0 分 開始 -

協議

発言者) 内容

佐藤産業振興課長 第 3 回産業振興部会議事録の内容について確認し、了承される。

佐藤産業振興課長 第 4 回産業振興部会について開会
阿部副部会長、渡部委員、西川委員は所用により本日欠席の報告あり。

佐藤産業振興課長 渡邊部会長より開会の挨拶をいただきます。

渡邊部会長 第 4 回部会となるが、充実した協議にしていきたいのでよろしくお願いします。

佐藤産業振興課長 議事録署名人の指名につきまして、部会長と出席委員 1 名の指名をお願いします。

渡邊部会長 それでは大友雅志委員をお願いします。

渡邊部会長 それでは議事に入ります。次第により (1) 美里町総合計画 (案) について 第 3 回部会での検討・追加・修正部分について、事務局説明をしてください。

小林戦略室長 総合計画 (案) 1 1 ページ、2 1 ページ、2 2 ページ、2 5 ページ、8 0 ページから 9 4 ページまでの追加・修正部分について、資料に基づき説明を行った。

涌井委員 修正資料 1 3 ページ 施策の指標で集落営農組織の法人化数で平成 3 2 年までに新たに 5 法人となっているが、法人化できなかった組織についてどのように考えているのか。一定の区切りが必要ではないか。

小林戦略室長 人・農地プランの組織とは別と捉えている。集落営農組織を 5 年以内に法人化することを義務

付けることは、もう少し整理した議論が必要と考える。この指標の法人は、現在の集落営農組織とは別の規模・形態を想定している。収益を高める法人を各地域に1法人は育成したい。サポートしながら法人の経営を根付かせるようにしたい。プラスして産地形成をして行くためには、現在の状況ではキャパが足りない。規模の拡大に向けた体制を取らないと次の施策23産地形成の指標に結びついて行かないので、今回の目標設定となった。

- 涌井委員 3年でモデル的なものを作り、5年でももう少し多くなる数字を期待した。
- 佐藤産業振興課長 集落営農組織がそのまま法人化ではなく。再編を含めた検討もあると考える。町からの支援ができるが数として今回の設定を行った。集落営農組織を5年で切るようなことは考えていない。次回の時に状況により検討したい。
- 涌井委員 目標としてプラス5法人で良いと思う。組織の合体、再編についてJAや普及センターに説明しタイアップして進めて欲しい。
- 日塔委員 普及センターでも取り組んで行く。法人化について、集落全体で一丸となって取り組むためには時間を要する。メリットだけでなくデメリットもある。5年で5法人は目標として良いと考える。
- 今野委員 追加・修正部分が相当あるので、意見があれば後日、事務局へ連絡することにして、次の議題に入っていただきたい。
- 渡邉部会長 今野委員よりご提案があったことについて、出席者に確認。了承となる。
- 佐藤産業振興課長 連絡先は、産業振興課にお願いします。特に修正した箇所での確認、質問があればこの場でも出していただきたい。
- 渡邉部会長 議題(1) について何かないか。
- 日塔委員 プラットホームの形成とある表現は、21ページと25ページの2か所だけか。
- 佐藤産業振興課長 2か所だけである。
- 日塔委員 突然の記述であり違和感がある。前段に記述がなくても良いのか。
- 大友委員 町民に公開する総合計画であるので、専門用語には注釈を入れるべきである。
- 渡邉部会長 ぜひ、入れていただきたい。
- 小林戦略室長 企画財政課で全体的に注釈を入れることで進めている。

大友委員 地域ごとに特色ある生産物について表示をすると、一般の住民にも分かりやすくなるのではない
か。

渡邉部会長 の施策２７《工業を振興するための対策》について事務局、説明してください。

佐藤産業振興課長 今回提出した資料により説明を行った。

渡邉部会長 意見を求めます。

今野委員 現状と課題の６番目の「地域産業の中核である・・・」とあるが、どのようなイメージなのか。

小林戦略室長 食品製造業でカット野菜の工場が２か所ほどある。農業とその辺の連携を考えている。その辺の
関わりがあって整理をしている。

渡邉部会長 農業者と中小企業が枠を越えて取り組みたいとのことか。

小林戦略室長 野菜を単純に出荷するのではなく輸出まで考えた場合に、農業と工業が一緒に行動することを想
定しないと進めないと考える。

今野委員 中小企業の定義をどう捉えるかによるが、そのような含みを持つのであれば、果たしてできるの
かとの感じがある。

涌井委員 起業して６次化を始めた場合は、農業と見るのか工業と見るのか商業と見るのかによって変わっ
てくる。そのことによって指標の数値にも影響があるのではないか。

佐藤産業振興課長 指標の数値は現状維持として行くとの設定である。

小林戦略室長 美里町の工業出荷額は２５０億円前後で推移してきた。東日本大震災後に南郷地域に４社が進出、
ものづくり復興特別区域などの優遇制度により、３２０億円となった。最大値であり、これを維持
するのも大変な数値と考えている。

大友委員 （仮称）地方拠点強化に関する地方再生計画とはどのようなものか説明願う。

小林戦略室長 内容について、説明を行った。

大友委員 食品加工の機械などを扱う製造業の事業者はないのか。

小林戦略室長 美里町内にはない。

今野委員 ベンチャービジネスや中小企業の成長を促進するベンチャーキャピタルの活用が必要ではない

かと感じる部分がある。前向きに経営に携わる若い人がいるのではないかと感じている。

小林戦略室長 検討をしてこなかった。今後いろいろと指導を願いたい。

渡邉部会長 その他にありますか。なければ次に進みます。施策２８《商業・サービス業を振興させるための対策》について説明してください。

佐藤産業振興課長 施策２８《商業・サービス業を振興させるための対策》について説明を行った。

渡邉部会長 ご意見ありませんか。

涌井委員 小牛田地域において、北浦、駅前、本小牛田と地域意識が強かったが、最近はどうなのか。

渡邉部会長 人間関係は良くなっている。駅前、本小牛田の大きな商店会があるが、行事を行うときなどもコミュニケーションがとれている。商工会の組織の中でも協力して行っている。

涌井委員 商工会に加入している方で、農業者は何人位いるのか。

渡邉部会長 農業者兼販売している方がいる。数的には把握していないが、３０人から４０人はいると思われる。

涌井委員 商工会に加入すると、低利で借入れできると聞いたが

渡邉部会長 金融機関は貸付利子で利益を上げている。商工会は、事業者が生きるため、事業を継続するために制度として運営している。いろいろな制度を検討し、有利なものを選択している。

涌井委員 起業する場合に普及所やＪＡを通じて補助金を受けて始まるが、運転資金が必要な場合に、商工会に加入するのも良いのではないかなと思う。６次化を始める場合に検討が必要と思う。

今野委員 ワンストップ相談窓口は大変有効だと考えている。

渡邉部会長 ほかに意見ありませんか。ないようなので、次の施策２９《物産・観光を振興するための対策》について事務局説明してください。

佐藤産業振興課長 施策２９《物産・観光を振興するための対策》について説明した。

渡邉部会長 ご意見ありませんか。

大友委員 美里町の観光と言うと小牛田駅を中心とした交通の要衝とのイメージがある。新幹線ができてから駅構内が大きく変わった。乗降客が少なくなったと思う。山神社は県内でも有名である。昔から

小牛田駅と山神社のイメージがある。それに触れている部分がない。新しいものを作るのも良いが昔からあるものを活用することも必要ではないか。

佐藤産業振興課長 あじさい祭、どんと祭には近隣から多くの人が集まる。十分にPRできていない点がある。物産協を含めて観光資源の掘り起こしを行い、さらに活性化施設とタイアップして観光の発信を取り組んでいきたい。商工会、JAなどと連携して取り組んでいきたい。

今野委員 観光となるものがほとんどないに等しいと思っている。観光スポットの開発と近隣の観光地とルート化を図り、集客をして行くとの大きな絵を描かないと、観光を産業にして行くのは大変難しい部分があるので工夫が必要。

小牛田駅の活用であるが、交通手段などの状況が大きく変化している。旧来の概念を越えて、近隣と連携した物語を含めたルートを作り、単発ではよそから人が来るような状況ではない。東京都が東北の観光ルートの設定をした。宮城県は松島しか入っていない。松島からどう誘客するか工夫が必要。外国の観光客が増えているが東北は増えていない。東北に来てもらえるような環境整備を考えることも必要。

小林戦略室長 山神社については、漏れていたのを修正します。観光ルートについては、少し広域的に考えて行く。宿泊があると格段に成長する。日帰りだけだとお金を落とす仕組みになっていない。物産もしっかりやって、山神社と東西の観光ルートの中で地域にお金を落とすしくみを作りたい。

渡邉部会長 山神社の記載をお願いする。ほかご意見ありませんか。

日塔委員 福島県会津美里町が記載されているが、大崎市などの近隣、県北の市町名を載せた方が住民には分かりやすいのではないかと、

佐藤産業振興課長 分かりました。修正します。

渡邉部会長 ほかにご意見ありませんか。なければ次の施策30《安定した雇用を確保するための対策》について事務局説明してください。

佐藤産業振興課長 施策30《安定した雇用を確保するための対策》について説明した。

渡邉部会長 ご意見ありませんか。

今野委員 関連事業の企業誘致の推進を、ぜひ積極的にやって欲しい。特に大企業の誘致を積極的にやるべきである。「積極推進」などの字句はどうか。

渡邉部会長 美里町には、遊休地がほとんどない。山がないので農地を開発するしかない。用地を確保していないと企業誘致が困難である。

佐藤産業振興課長	企業が進出する際、用地があるかとの要望に対応できるかがカギとなる。それに向けた準備が必要と考える。活性化施設の整備も含め対応できる組織が必要ではないか。町の他の部署との連携も必要である。
今野委員	企業誘致は機密性が求められる。戦略的、長期的な視点に立った動きが必要である。
渡邉部会長	ほかに、ご意見ありませんか。
日塔委員	施策の展開に、雇用機会と就労機会と二つの言葉が記載されている。 関連事業の起業、農業のチャレンジ支援と記載されている。これは、自分の仕事を増やす事業なのか、雇用を増やす事業なのか整理をして欲しい。 施策の目的は前の方が分かりやすかった。
小林戦略室長	雇用機会、就業機会は調整をします。起業、農業チャレンジは自らの仕事について記載した。雇用就農についてはこの項目でイメージしていなかったので、すべて創業と捉えている。施策の目的については、企業を誘致する土地の問題等もあり働く場所を増やすことは容易でないと判断し、このような表現となった。
佐藤産業振興課長	企業を誘致して雇用を確保するのか、通勤圏の中でどう検討するのか選択が難しかった。
今野委員	通勤圏の中での雇用では、勤める事業所の市町に住民が移住する確率が高いと思う。町内に誘致できるのであればやって欲しい。若い人たちがどうしても美里町に住みたいとはなっていないのではないか。
渡邉部会長	その他に意見ありませんか。なければ次に進みます。
渡邉部会長	(2) 他の部会からの意見シートについて、事務局説明してください。
佐藤産業振興課長	他の部会からの意見シートについて説明した。
渡邉部会長	部会開催の日程調整が困難なため、随時の受付けはできないとする。 (出席委員が同意した)
渡邉部会長	5 , その他 第 5 回産業振興部会の開催について事務局説明してください。
佐藤産業振興課長	日程調整が非常に困難なため、11月1日(日)午後1時30分から審議会全体会を予定しているので、その終了後に産業振興部会を開催したい。本日の議事録及び計画(案)を修正したものを事前送付をするので、内容の確認をお願いしたい。なお、第5回は部会のまとめとして最終案を確認していただきたい。
渡邉部会長	いまの日程でよろしいか。 (異議なし)

(第 5 回産業振興部会 11月1日(日) 審議会全体会終了後に開催を確認した)

渡邉部会長

それでは、本日の議事は終了する。

佐藤産業振興課長

閉会のあいさつを副部会長欠席ですので部会長をお願いします。

渡邉部会長

大変長時間にわたりご審議いただきましてご苦勞様でした。もう少しでありますのでよろしくお願ひします。ご苦勞様でした。

— 午後4時5分 終了 —

上記会議内容について相違ないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員 産業振興部会長 部会長

産業振興部会 委員